

システム情報工学研究科特定課題研究報告書概要

年 度	平成 21 年度	学位名	修士 (公共政策)
専 攻	経営・政策科学	専攻	著者氏名 陳 婉
指導教員氏名 松田 紀之			
報告書題目 ハーゲンダッツジャパンに対するマーケティング・コミュニケーション分析と提言 (パッケージに見るハーゲンダッツジャパンのマーケティング・コミュニケーション)			
報告書概要 <p>近年、商品パッケージのコミュニケーション機能がだんだん注目され、本研究では、ハーゲンダッツジャパン社は市販のアイスクリームのパッケージを通じて、消費者との間に行われたコミュニケーションとその中存在するミスマッチを明らかにすることを研究目的にした。そのため、ハーゲンダッツジャパン社市販の 6 種類の商品から「ミニカップ」と「ドルチェ」の二つを選んで、パッケージに含まれたメッセージについての研究を始めた。結果から、1) ハーゲンダッツジャパン社消費者ターゲット層の成長や変化に合わせて、パッケージデザインに様々な工夫を施したこと。2) パッケージを通じて消費者に「上質感」、「高級感」などのイメージを伝えようとしていること。3) パッケージの変化にもたらした成長効果が売上高の推移から見える一方、近年成長の鈍化と新カテゴリー商品「ドルチェ」が予想効果に達成していないのも表れたことが分かった。以上の結果を基にフォーカス・グループ・インタビューを行い、 Mint マップにまとめた図から、問題点を見つけ、アンケート調査を行った。収集したデータを因子分析、<i>t</i> 検定で分析し、「パッケージデザインにおいてはミニカップから距離感が生じ、ドルチェならではの新奇感が伝わっていない」という問題点を明らかにした。これが大学生を中心とした 20 代前半の消費者にハーゲンダッツ商品に対する好感度と購買意欲に影響を与えている要素がわかった。最後、見出した問題点に対して、自分なりに提案を探ってみた。</p>			
審査日 平成 22 年 2 月 3 日			
審査員	(大学名 職名)	(学位)	(氏名)
主査	筑波大学 准教授	Ph.D. in Organizational Behavior	渡辺 真一郎
副査	筑波大学 教授	Ph.D. in Sociology	松田 紀之
副査	筑波大学 准教授	博士(理学)	原田 信行